常磐毎日新聞
日刊
二月二十七日　夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵稅五厘
廣告料普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
編輯局 平 長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社（振替口座 東京 四〇二二〇番）

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

聖戰對應の銃後强化
司法保護委員を囑託
昨日平市公會堂の辭令傳達
式後保護事業伸展の座談會

今次支那事變の長期戰体制下に於て、全日本司法保護事業聯盟では國策の線に沿ひ銃後の[illegible]りを一層强化して、聖戰[illegible]目的の達成に適進すべく[illegible]司法保護事業の各分野に亘り保護機構の根本的修正の必要を認め、それに對應すべき具体的方策の一つとして、玆に客年の懸案たる所謂觀察保護制度の擴充を圖り、司法保護委員制度を全國一齊に實施する事となり既記の如く平區裁判所檢事局管內の司法保護委員に對し昨日午前十一時から平市公會堂に於て辭令交附式が擧行された

同委員は再犯防止の上に釋放者其他を保護善導すべく努力するを任務とし當地方としては此の委員が新設された事に依つて免囚保護を目的とする財團法人平自營會の活動機能は一層强化される事になるので多大の期待の許に自營會開催者が多數參集自營會常務理事門傳辯護士の司會に依つて開式、宮城を遙拜して君ケ代を合唱、皇軍の忠靈に默禱を獻げ福島司法保護常務委員長たる增田檢事正の式辭、司法大臣代理として富澤檢事の告辭あり中谷監督判事、山本福島刑務支所長、菅沼市長、蓮沼縣議夫々祝辭を述べ閉式後、別館日本間に於て司法保護事業の普及進展に關し有意義な座談會が開かれた、平保護區及び双葉保護區の司法保護委員左記の如くである

（平保護區）赤井村旭純榮、平市藤內祐信、同遠藤心光、同關內正一、同大塚保、同黑澤清、湯本町須藤熊雄、四倉町金成岩吉、大久村飯島助藏、久之濱町木村芳陽、植田町長瀨米次、錦村大平菊次郎、泉村上遠野定次郎（双葉保護區）浪江町廣畑惠教。同佐藤永春、富岡町大原榮三郎、木戶村島賢亮、龍田村酒主義寛、熊町村半谷隆教、長塚村安井祥治

サーカスから
危く火事
猛獸物凄く暴れ立つ
電氣から紙に燃移る

二十六日拂曉市內白銀町で興行してゐた山元サーカス團の[illegible]から發火大事に至らんとしたところを近所の人々が發見消止めたがなんせ虎や象等の猛獸が物凄く吠え立てることゝて一時は大騷ぎであつた、原因は電球が加熱傍らにあつた紙に燃え移つたものである

烈風中に
子供の弄火
昨日小島山燒く

二十六日午後一時頃烈風中內郷村大字小島地內山林から發火同村山下喜代己氏外四名所有の杉林一町歩、雜木林一町歩を燒き二時頃鎭火したが損害は約三百圓、原因は子供の弄火

土産話の聞き賃
隙を見てトランクの中から十圓を拔取る
竊盜常習の職工

平市內某製作所職工新潟縣中頸城郡直江津町生れ前科一犯川崎定治（二六）は目下竊盜罪で平署に檢擧され取調べを受けてゐるが、同人は二十一日午後一時頃上海歸へりの双葉郡木戶村大字成山內岸本寅夫氏が市內南町松村病院に入院してゐるのを聞込み自分も上海に行つて働きたいと思ふがあちらの模樣を聞かして下さいと訪れ隙をみてトランクの中から十圓紙幣一枚を拔きとり逃走したもので是れまで數回に亘り竊盜を働き檢擧されたことがありそのたび微罪なところから不起訴となつてゐたものである

玉川の祈願

玉川村國防婦人會では既報の如く二十四日總會を兼ね副會長遠藤もと子さん寄贈の班旗の樹立式を盛大に同村縣社住吉神社で擧行したが併せて皇軍の武運長久祈願祭も執行した

未入營補充
查閱日割決定

平市及び郡下における未入營補充兵の指導並に查閱は三月十七日から六日間に亘り本多中佐により執行されることになつたが各市町村の日割は左の如くである

△十七日四倉小學校—大野、大浦、草野、神谷、四倉 △十八日平第一小學校—平、福島炭礦、夏井、高久、飯野、赤井、小川 △十九日好間小學校—三坂組合、永戶組合、好間古河好間炭礦 △二十日湯本小學校—入遠野上遠野、磐崎、內郷、小野田炭礦、磐城炭礦入山炭礦、湯本 △二十一日江名小學校—豐間、鹿島、玉川、泉、小名濱、江名 △二十二日植田小學校—田人山田、渡邊、錦、錦工場、植田、川部、勿來礦、勿來

石城地方の地名考（四）
磐城民俗研究會

四、信仰

寺宮　四ツ倉町寺町は寺院があり、神谷村立鉾には鉾を立てた傳說の立鉾鹿島神社がある。草野村火の宮は火祭のあつた處、上遠野村稲荷林、好間村稲荷下は共に稲荷神社に關係する。大野村藥王寺は藥王寺の寺百姓に依り發達した部落である。寺、宮に關する地名は相當多く、飯野村高寺の如く既に寺はなくて地名のみ殘る塲合もある

閼伽井　アイヌ語であかは水を意味する梵語のあかも水を意味するから恐らくは後者の佛教に關するものであらう

道祖土　泉村の道祖神のある坂を道祖土坂と言ふ。四ツ倉町道祖神、磐崎村才の神は說明を要せぬが、大浦村濟戶には塞の神があり、飯野村砂屋戶にも古くは祭つてあつたから、さやおどは確に道祖神を意味するであらう。三阪村差鹽にも道祖神がある由で、田人村御齋所とも書いたが交通祓齋の處には相違ないから道祖神に關係する地名ではないかと思ふ

山の神　荒神、山神を祭つた地名は泉村、湯本町共の他に相當多い。草野村荒神下は荒人神、好間村五神は五社權現か五行神、その他湯本町天神等夫々の神を祭つた地名を指す

比久尼、神笑、鳥追、鎌倉、耳取、力石、濱井場　赤井村比久尼坂には尼の凍死傳說あり泉村神笑では神樣がどつと笑つたと言ひ、磐崎村鳥追は鳥小屋行事のあつた處。草野村鎌倉も秋田縣等に行はれるかまくらを意味し鳥追ひに關する地名か、草野村耳取は諏訪神社のある所、生ニエに捧げる獸の耳をとつた神事に關する地名、磐崎村力石は力を試す爲に抱へ上ぐる石のあつた處であり、內郷村濱井場、草野村濱江場は破魔弓を射た地名に依るであらう

塚　草野村一里塚、上遠野一里塚は共に交通上の里程を示す塚のあつた處、上遠野村六部塚は六十六部塚、玉川村餓鬼塚は佛教上の餓鬼を供養した塚、草野村京塚は經塚泉村行人塚は湯殿山等へ行つて來た行人の信仰上の塚、其の他幾多の傳說をもつ塚の名の附く地名も多い

獨古內　好間村獨古內は赤井村獨古水等と同じく弘法大師が獨鈷で地を突いて水を出したと言ふ傳說をもつてゐる

（續）

親に孝行したい
戶籍係に搜索願出

東京市大森區森ヶ崎五八二六磯野ミネさんは今二十七日平市役所戶籍係宛「私の本籍は會津若松市ですが實父の高澤童助が今から二十年前家出行方を晦したので其後各方面に手配搜索してゐたが一向手がゝりがないのでそのまゝにしておいたところ最近國元の知人から七、八年前のことだが平にゐたと聞きましたから」とこれが搜索方を願ひ出て來た、年は七十歲位で子供七人もありどんなことをしても孝行したいからと親を懷ふ情切なるものがあり係員もいたく同情早速調查に着手した

小名濱の
國婦總會

小名濱國防婦人會では二十六日午後一時から小學校講堂で總會を開いたが終つて第二師團司令部附步兵大佐上泉貞吉氏の講演あり頗る盛會であつた

就寢中を斬る
出產祝の酒に醉ひ
面罵されて憤慨
犯人逃走・目下行方嚴探中

石城郡錦村中田大工菅野登四夫方雇人山內一（二五）は廿六日主家の出產祝の御馳走酒に醉ひ兄弟弟子江井武夫（二八）と共に植田町に出掛け料亭を呑み步き飲酒中口論を始め江井に面罵されたのを其場は其の儘濟ませたが主家に歸つてから江井が寢込んだのを見すまして同夜十時頃双渡り八寸餘りの短刀で江井の左頸部を突き刺して逃走した、植田署で目下行衛嚴探中なるも一方江井は手當中だが出血多量の爲め生命危篤

早曉寒風を突き
大漁を祝ふ裸詣
けふ妙見尊の達磨市

だるま市で知られてゐる四倉町本町北辰妙見尊の祭典は昨二十六日執行されたがこの朝寒風を突いて大漁を祝ふ漁夫達は朝二時を期して裸詣の奇習を行ふなど頗る賑ひを見せた

優漁旗獲得
小名濱共德丸

昨年中（昭和十三年度）における本縣內最高漁獲揚採漁船について縣水產課で調查中であつたが小名濱町柳內房吉氏所有共德丸（船長伊藤房義氏乘組員百名）が十五萬百八十三円五十錢の漁獲をなし連續優勝旗を獲得縣水產會より優良漁船として表彰されることゝなつた而し漁獲においては前年より約二萬圓の減收である

婦人報國祭
地久節の當日
軍國の母に感謝と慰安

平市愛國婦人會では來る三月六日國母陛下の御目出度き御誕辰日を迎へ奉るに當り地久節奉祝婦人報國祭を擧行することになつた特にこの意義深き日に時局下軍國の母に感謝し慰安する爲め適當の催しものを行ふ由

夏井の豫算

夏井村の十四年度豫算村會は今二十七日午前九時から開かれた

新調見合せ
新入生の用品

物資の消費節約を强行して國策軍需資材の供給に協力する方針により市內各中等學校及び各小學校では學校用品は出來得る限り新調を見合せ特に新人生徒兒童の洋服及び帽子は現に所持するもの又は有合せのものを使用せしめ節約方針を强調國策の精神を充分理解させ指導することに決定した

平市豫算
市會
三月二日に

平市では三月二日午前十時から市會を開き十四年度の豫算編成其他を附議するが是れに先立ち廿八日午前十時からマルトモに內示會を開くと

軍馬彰忠碑
玉川除幕式

玉川村では既報の如く同村縣社住吉神社境內に軍馬彰忠碑を建設したがこれが除幕式は三月十日の陸軍記念日に擧行する

平商業の父兄會
正副會長其他を決定

既報平商業學校父兄會總會には廿五日午後一時から同校講堂に開き會則の改正其他を附議したが從來十錢であつた父兄會費を二十錢に增徵して校舍の新築に伴ひ運動施設其他を完備する事となつた尙正副會長其他役員の補充は選任の結果左記の如く決定した（會長）川崎文治（副會長）佐藤伊太郎（評議員）志賀盛榮、高崎松三、瀧口豐（幹事）木村德三郎

ニセ少尉
化の皮剝る

錦村大字中田大津波靜雄方昭和人絹會社職工山形縣東田川郡黑川村生れ難波豐（二六）は前科四犯もありながらスツカリ少尉になりすまし昨年九月七日錦村昭和人絹に入社服裝並に軍刀を新調し同工場在鄕軍人分會參事に推され勇士の遺家族慰問や出征勇士の歡送迎と天晴れ少尉ぶりをみせ他人を信用させ借り倒しの詐欺を働いて居たと

大阿久君の
遺骨が凱旋

既報—前線で奮戰中惜しくも病死された市內長橋町出身大阿久三郎君の遺骨は三月六日聲なき凱旋をされる

酒代を
盜み廻る

內郷村大字宮字宮澤七年會合宿所內磐炭白水坑々夫新藤榮（二九）は去る二十日午後五時頃坑內で作業中同僚のスコップ、ツルハシ各一丁この價格五圓を竊取これを近所の古物屋に賣拂ひ酒代にしたこと發覺今二十七日平署に檢擧された

學年末
校長打合せ

平市內各小學校の學年末打合せ會は今二十七日午前十時から第一校會議室で開かれた

忠魂祭
玉川で執行

玉川村では例年四月二十七日に執行してゐた忠魂祭を今年は陸軍記念日の三月十日執行することになり目下準備を進めてゐるが當日は同村縣社住吉神社で皇軍將兵の武運長久祈願並に歸還兵に對する奉告祭を行ふ外武道大會等を催す筈である

平市人事

出生

△胡摩澤五三鈴木兵七氏七女政子さん
△南町三四佐藤定雄氏長女啓子さん
△江栗町五五目下橫濱市鶴見區潮田町七七六永山清助氏長男喜一郎君

婚姻

△盛岡市東中野馬場小路一阿部和雄（三四）北目町一五六鈴木キサさん（三一）

ラヂオ
JOHK

今晚の部

▼後六、〇〇 子供の時間 童話「正太の土產」岸大雲作、淸德重雄
▼後六、二五 第二次東北振興講座（二四）「東北振興事業の將來について」東北局長宇都宮孝平
▼後七、三〇 特別講演「唯今賣出中の支那事變國債」大藏政務次官杉村光三
▼後七、四〇 講演「滿洲に於ける土地制度の現在と將來」法學博士石田玄次郎
▼後八、〇〇 ピアノと管絃樂「ピアノ協奏曲ハ長調」日本放送交響樂團
▼後八、三〇 ラヂオ時局讀本
▼後八、四〇 連續ラヂオ小說「土」長塚節原作

明日の部

▼前一〇、二〇 婦人の時間「春先の身だしなみ」早見君子
▼前一一、〇〇 幼兒の時間 童話「新しいお友だち」淸水たみ子作、松本碩子
▼後〇、〇五 トーキー音樂—銀座敎文館RKO試寫室より中繼—「ハリウッド・ホテル」ワーナーナッショナル映畫
▼後二、〇〇 小學生の時間（第五）國史劇「戰國時代」大阪國史劇研究會
▼後三、〇〇 婦人の時間「二月の婦人界」市川房枝
▼後三、三〇 敎師の時間「最近におけるドイツの敎育事情」山形高等學校敎授佐藤直丸
▼後五、三〇 中學生の時間 科學物語「飛行機」石尾市太郎
▼後六、〇〇 子供の時間「傳書鳩アルノウクス」大阪童話敎育研究會
▼後六、二五 講演「科學界のトピック」理學博士石川淸一
▼後七、四〇 講演 北京より
▼後八、〇〇 室內樂 鈴木クワルテット
▼後八、三〇 ラヂオ時局讀本「體位向上の花」
▼後八、四〇 靑年の時間 錄音スナップ「銃後女性に拾ふ」
▼後九、一〇 ラヂオドラマ

看護婦募集
經驗の有無に拘らず
數名募集す
姓名在社

愛憎三度笠
吉川延作
瀧秋方画

（十一）

手紙（一）

近藤は、[illegible]十郎の受けとつた手紙の由來の名をチラと一目見たばかりだが、彼の胸に鉛のやうにぐさと刺しぬくばかりの感觸を胸に一物あつて、ぐつと我慢をしたのであつた。

沖田に何を命令したのか、沖田は隊の申合せを[illegible]けるが如く急いで行く。

「おい〳〵」

一足ばかり[illegible]つた。

物蔭から[illegible]ふ。

「何か」

沖田は[illegible]

「さうぢや、[illegible]

行く。

「おや、[illegible]」

[illegible]の[illegible]も[illegible]とした。

「さうだ、大方近藤のやりさうなことゝ思つたから、實は[illegible]しながら出て[illegible]」

[illegible]に[illegible]から、突込まれると、却て[illegible]がくつと閉口ついて[illegible]するが抜ける。

「……」

沖田は默つて、相手の言葉を聞くばかり、この時に及んでゴマ化しは通用しない。

「拙者の後をつけて來たのであらうがな」

「ちがふ、大分氣が廻つてゐるな」

沖田は漸く、自分の態度を取りもどしたのであつた。

「あゝ氣は廻つてゐる」

「拙者は[illegible]がある」

「さうか、それならば[illegible]げ、とめはせぬ」

[illegible]に、[illegible]にさげた[illegible]

[illegible]入れからひらり[illegible]をとりにした。

「さらば!」

と、沖田は[illegible]十郎の[illegible]を[illegible]りはしたものゝ、全く自分ながら、あきれるばかり狼狽してゐて、殆んど背負投げを食つたやうな態度だつた。

このまゝ歸つては、沖田の[illegible]がさがつてしまふ、近藤からは見つかつたときは、逃げて隠れと[illegible]はされてはゐるものゝ、何と考へてもこのまゝ歸りたくはない、あの手紙を自分の手に今一度入れて見よう、それが不[illegible]なおしんに對しても、せめてもの……と、おしんの[illegible]ではおしんと喧嘩をせんにかゝ[illegible]あした過去を不思議にも[illegible]しまつたのである。

それにしても、あの手紙をおしんが何故自分に對して見せなかつたのであらう。

味方に對し挑戰的な態度に出たので、その態度が如何に考へても、不愉快なわだかまりを感じさせずには置かなかつたのである。

「どうしてもくやしい!」

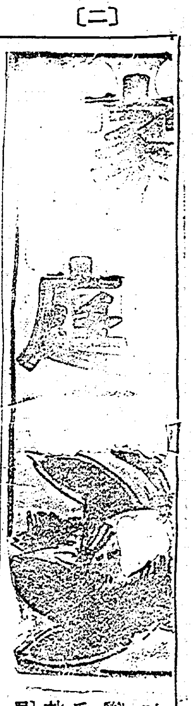
と、彼は呟いた。

「[illegible]如きが!」と考へられる。引きかへして踪づくで……と一足、二足引きかへす、その鼻の先へ

「沖田君、どうも、あの手紙に御熱心らしい、それではこれを進呈しやう」

「……」

これでは沖田が後をつけられたことになる。くやしいが、默つて相手の言葉を待つより外に手段がない。



時難克服の鍵

艱苦缺乏、堅忍不屈の精神を以てするに非ざれば、獨立自衞の主義を實にするを得ず、人は激厭守の勇氣を缺くべからず

[illegible]の方向

山川菊榮

教育といふものが直ぐに實用的効果―殊に家庭的な―を伴はねばならぬといふ建前からは、今日の女學校そのものさへ無用だといふ議論も成立つわけで、現にさういふ實用一方の教育をするためには實科女學校や裁縫

教養もあり、それよりも十四五から見習奉公に出したり、家庭で家事の手傳ひをさせたりした方が、一層實際的な場合も多いのである。

▲

現在でも男女の知識水準の差

▲

女の教育は常識をもつて足る

は、その理解と協力とをさまたげる淺からぬ溝となつてゐる。この上その差別をつよめる事は女子が公人として職をもつ場合はむろんの事、賢なる妻母としての任務を盡す上にも、一層のハンディキャップをつけることになり、無知から起る悲劇を深刻化するであらう。

といふ。假にそれを認めるとしたところで、常識の內容水準も時代とともに激歩する。日本の國際的地位の變化、社會の發達は百年前のやうに、手近な家庭的技術教育だけを、その常識としておく事をゆるさない。日本の進歩發達を信ずる者は、その激歩發展に適應し、進んでそれを指導するだけの智的訓練を女子にこばむ理由はないはずである。

金屬類が暴騰
大切に使用して
不用品は處分なさい

金屬資源にとぼしい日本はこれまで外國から巨額の輸入をして來ましたが、事變以來多量の金屬を軍需品に使用することになりましたので、輸出の圓滑を缺き、金屬類は暴騰を來し家庭の隅々、物置のすみにころ／＼と投げこまれころがつてゐる屑金屬類まで、どん／＼と値が出てまゐりました

から、鐵片一個でも粗末に出來ぬ事に留意されたい、最近の金屬屑物其他の値段をかゝげて見ませう▼古新聞は一貫目三十錢を超えて三十一錢―卅二錢▼古雜誌も一貫目廿錢▼空缶では一升壜が七錢―八錢、サイダー、ビール壜が二錢―三錢、雜壜も一本一錢で賣れます▼毛糸屑物は再生されますので一貫目四圓▼銅類などは物によりますが一貫目七、八圓、齒磨などのチユーブは一貫目九圓、眞鍮は二圓五十錢位、煙草のアルミニユームは一貫目一圓▼木綿くづは一貫目九十錢位となつてゐます。この値段は所によつては異りますが大體標準値段です

資源愛護は
銃後の務め
金屬や屑物のお値段

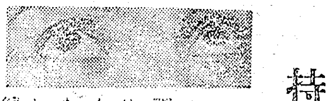
諸資源は、その總額をつくるブリ鐵が不足して、鐵つめもつくれない有樣で、そこで古鐵の蒐集が起してその缺乏を補はうとした結果です。そこで一般家庭はこの際出來るかぎり金屬器具使用をやめて、陶磁器、木製品ガラス製品で代用したいものです心としては、これは高いものをはぬことですから我慢がしやすいわけです、そして不足がちな金屬節約して軍需品にまはすこと

かく心がけなければならないことで、歐洲大戰當時各國とも戰爭が豫想外に擴大してたちまち砲彈の缺乏を來たし、その補充をやるにも材料がたらず生産力がおよばず、尊い生命をむざ／＼と敵彈の前にさらして反擊し得なかつたといふ事があります、わが國ではこんな事があつてはならぬ

國防力の增大を圖ることになります、さらに家庭では不用の金屬具を寢かせておかずに、どし／＼處分して現在使用してゐるのは、丁寧に取扱ふことです、歐洲大戰當時ごみすて場の古金までもきれいにひろはれて、そのためごみすて場が清掃されたといふことをまた皆さんも記憶にのこつてゐることゝおもひます、不足資源の回收といふ事は銃後の民のふ

美しい目を持ちたいですね
それには是非洗眼を

眼には埃がつきやすい



眼はとかく

ぱつちりとした女性は生々として美しく澄んだ眼をもちたいものですしかしこれからは埃が多くなりますから

汚れがちです、眼は外界に觸つてをりますから、外界からの埃などを呼びがちで、氣をつけてゐても大變よごれるものです、でこの埃をのぞくために淚腺から淚が出てよく掃除はしてくれますが、やはり外部からの手當も必要です、眼がしぶくなつたり、ヤニが出たり、赤くなつたりするのは眼がわるくなつた證據です

これをふせぐためには朝晩充分の睡眠が第一、それに次いでは洗眼が必要です、洗眼は

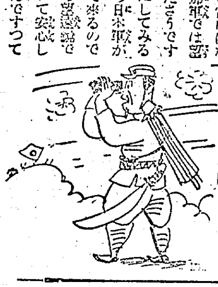
別に面倒なことはなく、洗面器に水で洗ひさへすればよく、鹽からくない程度の薄い食鹽水なら一層結構です、また眼の方は近眼用の眼鏡をかけるのもいゝでせう、よく指先で眼をこすりますが、これは危險ですから脫脂綿をお使ひ下さい、洗眼にはきれいな手か脫脂綿で水に眼をひたすのもよく、一日二、三回、外出からの

お歸りには必ず[illegible]

て下さい、このごろは眼をパツチリさせるための點眼藥が出來てをりますが、中にはコカイン性のものが入つてゐるのがあり、これはその時だけ眼をうつくしくさせますが、常用ふことは感心出來ません（內田醫學博士談）

日支アリヤコリヤ物語

望遠鏡



うちの中學生がお友だちから聞いて來た話ですから當にはなりませんけれど、支那軍では望遠鏡を逆にのぞくのださうです、近いものを遠くにしてみるんですつて。なにしろ日本軍があまりはやく近づいて來るのではこまりはてゝ、まづ望遠鏡で遠くに日本軍をのぞいて安心してゐる暇にやられるんですつて

子供の入學試驗に
母親は逆上
受驗前の色々な注意

試驗直前で子供よりも親ろいはせてしまつてゐるお母さんたちに、この際こんなことをいふと反感を起されるかも知[illegible]では大變に[illegible]してゐま[illegible]す

◇…かつて英國に留學した私の友人の話ですが、その友人が下宿してゐた家に小學校を卒業する女の子がありました、英國では[illegible]てをつて、貴族の子供は生れるから貴族の學校へはいれる資格があつて、一般の家庭の子供がさういふ學校へはいる時には、また日本などとは、比較にならぬ程激しい競爭があるのです

◇…その娘さんもある有名な學校で三千人に十人といふ割合の試驗のところへ應ずるために一生懸命に勉強してゐたさうですが、試驗の二三日前になつてテ[illegible]人に見られて「あなたはそんな事では、はいれませんよ」と注意したところ、其娘さんは「イングランドの人は頭が惡いのでさして心配にはなりません、スコツトランドの人は少々こわいけれど、私としてはもう出來るだけ勉強してありますから」といつて泰然自若としてをつたとのことでした。子供でこれだけの態度が出來てゐることは決し[illegible]

（家庭メモ）

◇わさびの卸し方…わさびの葉のやはらかい芽ぢかのよいのを選び金[illegible]注ぎ二、三分間熱湯に浸けてから湯を切ります之を二[illegible]てから味りん、醬油を[illegible]すぐに中へ混ぜます。

齒を拔いて命を取られる
往々實例が現はれる

醫學博士　山崎清

拔齒といふ事を一般にごく簡單に考へてゐるやうですが、最近は齒科專門醫でも却々容易でないと考へるやうになりました、齒科雜誌の

◇…**報告**によると、或る酒呑みの湯屋の三助が自分で齒を拔いた爲に死亡した例が報告されてをります、敗血症で死んだ報告であつた樣に記憶してをりますが齒を拔いた爲に死亡する事は實は稀ではなく、齒科雜誌に報告されてゐるだけでも澤山ありますが、報告されてゐない例は實に多いのです、假に死亡するまでにいたらないとしても、重篤な全身症狀をともなつて長期の入院加療を必要とする樣な事はすくなくありません、つまり拔齒の

◇…**失敗**から命と時間と[illegible]時としては生命までうしなふやうな事はしば／＼あるのです、そこで齒科專門醫が齒を拔くには一般の方々が[illegible]出來ない樣に注意がはらはれてゐるのです器具の消毒は勿論、使用藥物の嚴重な滅菌ガーゼ綿花の消毒、手指の消毒等で、嚴重な齒科醫は一度使用した注射針は使はないといふ程に氣をつけてゐるくらゐです、齒科の局所注射麻醉もなんでもないやうですが、この

◇…**注射**が失敗するとしば／＼重症におちいる事があるのです、それから拔齒のむづかしい齒は拔いたあとの齒の變化の問題で、拔いた後は放つておいても自然によくなつてしまふのが多いのですが、時には痛んだり、腫れたり、口があけなくなつたり、ひどいのになると死んだりします、で、齒をぬかなければならない程までに放つておくのが大變よろしくない事ですが、一度齒をぬかなければならないと齒科醫からいはれた場合には躊躇せずに拔いた方が安全です

麗人國

堀健吉作　畠野奎三畫

・・七七・・

曙夫人　一

「カミーウさん！ほんたうにあなたでしたわね。だけど、姿のことよくおわかりになつて」

すると、カミーウとよばれた外國婦人は誇らしげなわらひで眼を輝かしながら、

「だつて……姿、日本に來てまだあなたのやうな美しい方に一人も逢はなかつた。あなた、子供の時から本當に美しくつて、姿日本の女の人つて、皆あなたのやうに美しいとおもつてゐましたら、やつぱり、姿のアケボノさん、一番美しい方でした。いま、あなたのお姿見て、姿のアケボノさんのやうに美しい方だとおもつて、遠くから見てみました。近よつて見たらやつぱりアケボノさんでした。姿うれしい」

曙夫人は、ロシア大使を拜命してゐた祖父の子供につれられて、十三の少女時代をロシア大使館で暮した。

そこで、露國佛大使の娘のカミーウとは、同じ年の大仲よしだつた。

カミーウの話に依れば、彼女はその後或る外交官に嫁し、いまは駐日佛大使の一行に加はつて日本に來てゐるとの事だつた。

だが曙夫人の身のうへは歩みしかに物語ることの出來ない數奇の生涯だつた。露國大使在命中に祖父の客死――つゞいて[illegible]母の死――そしてたよりない身についに淺草のカフエーの女給と名乘つて馴れぬ世すぎに身の淋しさをかこつて、自暴自棄に陷らうとしたところを、はからずも千葉醫學博士に見いだされて、[illegible]の結婚、いまは[illegible]に豪華館の別邸をかまへて、[illegible]は、曙夫人といへば、[illegible]の口の端にさへ噂はれる社交の女王となりすましてゐた。

この生涯を異にする幼馴染は、[illegible]粉雪降りしきる異國の／リスマスの夜、ともに／＼手をとり合つて無邪氣に笑ひ興じ踊りくるつた時のやうに互ひに抱き合つて、友愛のあつい挨拶をかはした。

「いかがでございます、御一しよにお乘りになりません！」

と曙夫人がマダム・カミーウを誘ふと、

「私、丸善に本を買ひに來たのです、何か日本に關する讀物みたいなもの、ないでせうか」

すると曙夫人は手を打つて、

「あゝ、それでしたら姿の宅にございますからお送りいたしますわカミーウさん、お急ぎでなかつたら、その途で御一緒にお茶でも頂からぢやございませんか」

「メルシ（有がたう）曙さん！では丸善は今日はやめて、お言葉に甘へさせて頂くわ」

と、カミーウはこたへた。

「あなたの日本語、ほんとにお達者ですこと」

と彼女は云ひながら、自動車のクツシヨンにかけた。

カミーウはつゞいて、後から乘り込んで、そのブロンドの髮の毛を後方のソフアにもたせた。そしてすんなりした脚を組合せた。

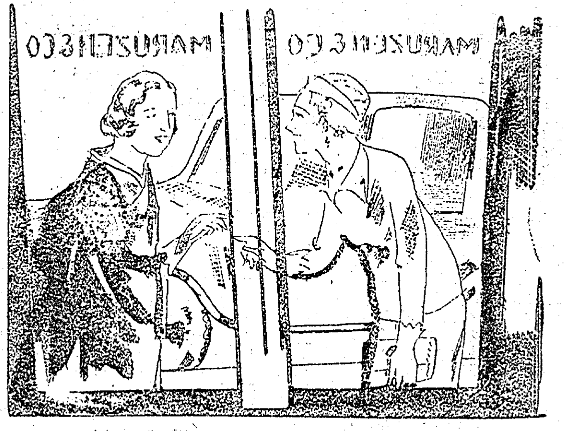
自動車は動きだした。

「わたし、少女時代、あなたとロシヤで大變仲よしでしたわね。あなたが姿の家へ來てくださらない日に、姿はあなたのお宅へおしかけて行つたものでしたわ。あなたの家へ行くと、きれいな日本人形や日本刺繡や日本提灯のかざられたあなたのお部屋で、御一しよに日の暮るのも知らずにあそびましたねえ。あなたの家ではまた、日本料理の夜食の御馳走を出してくださいましたねえ」

「……」

「それからまた、美しい花輪のかいてある御茶碗や、[illegible]なんかもありましたねえ、それからまた、日本マカロニのうどんも御馳走してくださいましたねえとてもあの味は、わすれられませんわ」

「……」



メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい……

玉屋　平市本町二町目

吸入用酸素　99%純度

度量衡　モノサシ　マス　ハカリ

計量器　體溫計　寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關內藥局　電話四〇番

寫眞材料一式販賣致シマス

電話五九二番に變りました。

食堂喫茶酒場を兼ねた

レストラン　サロン　平市銀座街

病室增築、手術室完備

醫學博士

產科婦人科　五十嵐雄二

平市新川町　電話三六九番

御婚禮御着附

パーマネントウエーブ

和洋結髮

オゾン美顏術

御染髮洗毛

御爪美術

平市驛前　水野化粧院　電話六七（營業所）五二八（自宅）

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します　入會隨時

喜多流謠曲仕舞　白土會　平市田町六九　電話一二七番

芳醇！美味！

たひら正宗

山崎合名會社　電話一〇番

外科　內臟外科　X光線科　院長　安齋敞

―新設―　產婦人科　醫學士　黑澤廣

▽入院隨意△

平市田町　安齋醫院　電話四七五番

國策の線を行く

鐵管の代用品

エタニツトパイプ

十尺モノ一本單價（水壓一五〇ポンド）　ギボルトジョイント（ツギ手）

D級　二吋　三、五四　二、一〇

　　　三〃　五、二二　二、五四

B級　四〃　五、五九　三、七八

　　　六〃　一二、一七　五、五六

鐵材　金物　工具

平市仲町通り　山田文一商店　電話二六二番

三井タクシー　平二　電話六八五番

吉田眼科醫院　平市紺屋町　電話八六番

當市ノ確實ナル實業家ニテ教養アル女中さんヲ求ム

一、勤先　東京宅（家族小人數）

一、年齡　十八歲以上三十歲以下

一、俸給　面談ノ上

一、公休　一ケ月二日間

御希望ノ方ハ當社ヘ電話下サイ、雇主ヲ御紹介致シマス。

電話六三〇番　常磐毎日新聞社

國旗と提灯　スガヤ

鈴木醫院　平市田町　電話五八番

（夜間診療）

胃腸專門　內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科

松村胃腸性病醫院　平市南町（電話一〇七番）

（病室完備）（隨時入院）

根本產婦人科醫院　平市南町五二　根本莊次郎　根本貞雄【電話四三番】